

2021年11月12日

報告: 有峰森林文化村 霜鳥 智也

石黒 秀雄

編集: 有峰森林文化村 田島 敏美

田中久美子

有峰は10月に入り最低気温が10℃を切る日も増え、11月に入ると氷点下になる朝もあり、日に日に向寒となることで、秋色から冬色に変化しています。この時期は、越冬のために有峰ビジターセンターに飛来するカメムシの仲間を見ることができます。このカメムシの仲間を、我々は最後の訪問者と呼んでいます。今年、当ビジターセンターに飛来したカメムシの仲間4種を紹介します。カメムシのことを、福井県、石川県、富山県、山形県の一部では、方言で「ヘクサンボ」などと呼んでいるようです⁽¹⁾。

○クサギカメムシ (*Halyomorpha halys*)

【分類】 カメムシ目 カメムシ科

【分布】 日本全土

【大きさ】 13-18mm

【寄主植物】 マツ、スギ、ウワミズザクラなど

日本中でお馴染みの、屋内が大好きなカメムシです。

タイ料理などに使われる「パクチー」のにおいと証されますが大量発生すると猛烈な悪臭となることで嫌われています。

※10月31日撮影



○スコットカメムシ (*Menida scotti*)

【分類】 カメムシ目カメムシ科

【分布】 北海道、本州

【大きさ】 9-11mm

【寄主植物】 ヤマハンノキ、ミズナラ、ブナ、シラカンバ、タラノキなど

キラキラ光沢のある綺麗なよく見るカメムシです。

こちらもパクチー風のにおいで、大量発生では強い悪臭を放ちます。お尻からチラリと羽根が見えています。

※10月31日撮影



○エサキモンキツノカメムシ (*Sastragala esakii*)

【分類】 カメムシ目ツノカメムシ科

【分布】 北海道・本州・四国・九州・奄美

【大きさ】 10-14mm

【寄主植物】 ミズキなど

ハート型の模様があり世間では「幸運を呼ぶカメムシ」と噂されています。母カメムシは卵を守る習性があり、孵化してから1回目の脱皮を終えるまで守る母性愛のカメムシです。

※10月31日撮影



○ミヤマツノカメムシ (*Acanthosoma spinicolle*)

【分類】 カメムシ目ツノカメムシ科

【分布】 北海道、礼文島、利尻島、南千島、本州、四国、九州

【大きさ】 13-16mm

【寄主植物】 ミズキなど

標高の高い所に生息するカメムシです。オスの生殖節には、ツノカメムシの特徴である「ハサミ状突起(赤橙色)」が付いています。 ※11月1日撮影



～ 一番臭いのはだあれ？ カメムシの臭気選手権！ ～

9月下旬～11月頃、家の中にちゃっかり入り込み、臭い！と一大騒動を巻き起こすカメムシくん。
世界には2万5,000種以上、日本だけでも約1,300種カメムシ類がいると言われています。
種類によって臭さは違うのでしょうか???

有峰ビジターセンター(&母屋)で主流なのは「クサギカメムシ」や「スコットカメムシ」です。この2種類は日本でも全国的に見られる、割と一般的なカメムシです。

カメムシの悪臭はパクチー(和名:カメムシソウ)の香りに似ているとも言われますが、カメムシの悪臭はより強烈！その匂いの正体(成分)はヘキセナールやデセナール等のアルデヒド類と言われています。ちなみにパクチーにもアルデヒドが含まれているようです。しかし、不思議なことに世界を見渡すと、南の国ではカメムシのにおいに対する評価が変化！地域によって生息する種類の違いや、違う匂いのするカメムシもいるとも思われますが、日常的にエスニック料理などでパクチーを食べている東南アジアの人々は、強く香ることを良しとし「カメムシのにおい=良い匂い」としている・・・とのことです。

パクチー好きな方は、きっとカメムシくんも♡

引用:(1) HPWikipedia 2021年11月9日閲覧

(2) HP昆虫エクスプロ-ラ2021年11月9日閲覧

参考:北日本病虫研報、アース製薬



有峰ビジターセンター掃除中・・・ 網戸から落ちると大概ひっくり返ります。